

あなやま

社会福祉法人 信和会

〒407-0263

山梨県韮崎市穴山町 5164

TEL 0551-25-6100

FAX 0551-25-6103

<http://www.sip-shinwakai.jp>

編集責任者 栗原 信

謹賀新年

初日に輝く甲斐駒ヶ岳



社会福祉法人信和会 評議員
株式会社山梨中央銀行 常務

長田 幸夫



謹んで新春のお慶びを申し上げます。

私は、平成29年度から社会福祉法人信和会の評議員を務めさせていただいております。

生まれも育ちも韭崎市穴山町で、現在もこの地に居住しておりますが、社会福祉法人信和会の経営を担っている栗原家とは、数々のご縁がありますので、主なものを紹介させていただきます。

一つ目は、信和会栗原会長のご長女と私が同級生であり、小学生時代から仲の良い遊び仲間として、栗原家に頻繁に出入りさせていただいたことです。ご長女とは今も信和会の催し行事等でお会いする機会があり、昔の良き思い出話などで盛り上がります。

二つ目は、私の結婚披露宴に、私側の主賓として栗原会長が列席してくださったことです。妻側の主賓は、妻が勤務していた山梨中央銀行の上司（重役）でしたが、奇しくもその方は、栗原会長の中学校の同級生で親友でした。偶然の巡り合わせに驚くとともに、ご両人には披露宴の格式を非常に高めていただきました。

最後は何と言っても、私が勤務する山梨中央銀行と栗原家との関係です。山梨県初の近代的金融機関である「興益社」を設立し、同社を発展させ、山梨中央銀行の前身に当たる「第十国立銀行」を創業、初代頭取に就任した方が、栗原会長の曾祖父の実弟である栗原信近氏（穴山郵便局敷地内に胸像が建立されています）です。信近氏が実質的な山梨中央銀行の創業者なのです。

信近氏は、一貫して「金を貸す前に知恵を貸す」を座右の銘とし、常に自分の着想を練り、有望と考えられる新事業の育成・振興に努めました。その結果、信近氏の指導の下、「第十国立銀行」から融資を受けることにより、多くの企業が誕生しました。また、同時期に県下の商業を振興する目的で山梨商法会議所（現甲府商工会議所）が設立されましたが、信近氏はその初代会頭にも就任しています。正に山梨の実業界の先駆者であり最高指導者であったと言えます。

信近氏は、「興益社」の設立定款にも示してあるように、融資に当たっては、その企業の公益性やコンプライアンス（法令遵守）に重点を置きました。単に利潤追求や投機的

なものは相手にせず、殖産興業を図り、公益を増進するような企業であれば、惜しみなく助成すべきであるとしました。一方で「興産金」と称する日本初の少額複利預金を創案し、貯金も奨励しました。このような信近氏の経営方針や信念は、現在も山梨中央銀行の経営理念として、脈々と受け継がれています。

平成29年11月～12月に、山梨中央銀行創業140周年を記念し、弊行の歩みを中心とする歴史的文献と古代から現代に至る貨幣の実物を常時展示している「山梨中銀金融資料館」において、この郷土が誇る偉人の企画展を、開催させていただきました。大勢の人が見学に訪れ、大変好評でした。

このように栗原家とご縁がある私が、評議員の一人として、微力ながら信和会の運営に携われることは、光栄の極みであります。

さて、社会福祉法人を取り巻く環境は、大きく変化しています。人口減少や少子高齢化の進展等による社会構造情勢の変化に伴い、福祉ニーズが多様化・複雑化している一方で、福祉に携わる慢性的な人材不足が社会的な課題となっており、人材の確保・育成や労働環境の改善に注力する介護施設も増えています。

このような状況下、信和会は健全かつ磐石な財務体質を背景に、地域のニーズを捉えた新しい施設基盤の提案や一般企業との競合を意識した人材確保に努めています。経営課題に周到に向き合い、着実に成長を続ける、県内福祉業界を担う屈指の中核事業者です。

陰陽五行説によると、本年は「己亥（つちのと・い）」に当たります。「己亥」は、「今現在の状況を維持しながらも、より成長するための準備を行う年」と言われています。

社会環境の変化が激しい時代を勝ち抜いていくためには、今の体制を一層充実させていくという守りの姿勢も大切ですが、一方で猪のような力強いバイタリティを持ち、新しいことに積極果敢に挑んでいくことも必要です。

信和会の役職員の皆様にとってこの1年が、次のステージに向けた充実した期間となるよう、一層のご活躍を祈念しております。

本部だより

社会福祉法人 信和会 法人本部
〒407-0263 韮崎市穴山町 5390
TEL 0551-25-6100
E-mail: honbu@sip-shinwakai.jp



理事会・評議員会報告

- 開催日：平成30年12月6日（木）
開催場所：古名屋ホテル 会議室
審議事項：第1号議案 補正予算について
第2号議案 穴山の里 新活動棟（仮称）建設について
第3号議案 諸規定変更について



平成30年度第2回目の理事会及び評議員会をそれぞれ開催致しました。
新年を迎えるにあたり、建築より数十年経過また、常時利用している施設設備の老朽化に対し、修繕工事を中心に予算補正を行いました。
穴山の里においては雨天時等屋内活動の充実、地域防災拠点への活用を目的に新規に建設致します。これは単に穴山の里だけでなく法人内各事業所並びに地域交流の拠点として活用いたします。
諸規程の変更等は今年で四年目に入る職員の処遇見直しについて、役職者に対する処遇の改善を行います。職員が継続して更に働きやすい環境を整えることが出来ました。
今年度もよろしくお願いいたします。

議案の詳細報告

第1号議案 補正予算について

以下の内容について補正予算をご提案し承認されました。

- ① 穴山の杜関連
 - ・加算変更による収入増 ・エレベーター発電機購入（停電時稼働対策） ・軽自動車購入
 - ・施設裏側舗装工事（側溝破損修理、車通行対応）
- ② その他事業所関連
 - ・グループホームトイレ修理 ・杜ショート浄化槽点検 ・穴山の里軽自動車購入

第2号議案 穴山の里 新活動棟（仮称）建設について

雨天時等屋内活動の充実、地域防災拠点への活用を目的に新規に建設致します。以下の内容です。

- ① 建設概要
穴山の里本館南西側山林を整備して 約400㎡の屋内活動棟と職員駐車場を建設致します。
- ② 土地の区分変更
建設対象の土地は 本部預かりの区分でしたが、今回の建設により穴山の里区分に変更いたします。
- ③ 業者の選定方法
開発行為、整備、監理・設計、建設施工に関してご提案し承認頂きました。

第3号議案 諸規程変更について

- ① 賞与支給に関する項目
支給考課の統一と役職手当も含んだ支給方法への変更をご提案し承認されました。
- ② 管理職、役職手当の変更
業務内容も考慮し 手当での増額をご提案し承認されました。



穴山の里

障害者支援施設 穴山の里
〒407-0263 韮崎市穴山町 5164
TEL0551-25-5900
E-mail : sato@sip-shinwakai.jp



第56回全国知的障害福祉関係職員研究大会

施設長 栗原 信

11月14～16日に開催された第56回全国知的障害福祉施設関係研究大会山口大会『夢や希望をかなえあえる未来～みんなで語ろう！明日にける障害者福祉への熱き想いを～』に職員が参加致しました。明治維新後150年を迎えた今年、山口県全体が活気に溢れる中、予定参加者数よりも多い1,700名の関係職員が全国から集まる大規模な大会となりました。

大会では、障害児支援、地域生活・就労、権利擁護や意思決定支援、高齢化や強度行動障害、虐待の根絶など豊富な分科会と貴重な講演を聞き、障害分野は老人介護分野と異なり、障害児から青年そして老人と幅広い支援と知識が必要と実感したようです。中でも携わったことがない、障害児支援についての分科会については、障害児への支援方法や障害児をもつ家族へのケア、関係機関・施設との連携・協働・融合などの貴重な話は、勉強になると同時にどの話も新鮮でとても有意義な時間を過ごし、成長期における障害の特徴は、成人後の障害特性にも影響をすることから、当施設支援にもたくさん役に立つことがありましたので今後活かして参りたいと思います。



10月13日に東日本大震災復興支援を目的として気仙沼から取り寄せたサンマをみんなで食べる「穴山町サンマ祭り」に参加しました。職員はサンマを焼き、利用者様は舞台の催し物や被災地の物品を見たりして楽しんでいました。昼食には脂がのったサンマを食べ、中にはきれいに頭まで食べた方もいて皆とても笑顔が見られました。また来年も美味しいサンマが食べられることを楽しみにしています。



穴山の里文化祭

今年も旧穴山小学校体育館とふれあいホールをお借りして「穴山の里文化祭」を開催しました。準備の段階から利用者様と職員と一緒に協力して作品作りや踊り・合唱の練習を行い、本番当日にはその成果を十分に発揮することができました。今年度は数年ぶりに劇にも取り組み、山梨に伝わる桃太郎を利用者様と一緒に楽しく演じることができました。また外部発表として、大正琴ザ・キャンディーズやわ〜く穴山の里の皆様による素晴らしい大正琴の音色と迫力のある太鼓演奏が華を添えてくれました。平成最後の文化祭となりましたが、来年度もさらに良い文化祭を作り上げていけるよう頑張ってお参ります。

地域防災士養成



近年、異常気象によるゲリラ豪雨等が頻繁に発生しています。また、ひとたび発生すると静岡県から宮崎県にかけての一部の地域で震度7となる可能性がある「南海トラフ巨大地震」もここ30年の内に70～80%の確率で発生することが想定されています。そのため信和会では地域貢献の趣旨から、法人だけではなく地域防災の中心となれる防災士を養成することにいたしました。

穴山の里からも11月から12月にかけての4日間にわたり地域の防災リーダーを養成する防災士講座に職員1名を派遣しました。防災士に求められることは、自分で自分の身を守る(自助)と地域や職場でお互いに助け合う(共助)です。

まずは、家具の転倒防止や非常持出品の点検等、利用者様や職員の生命身体安全確保のためにできる身近なことから取り組んでまいります。(文責 上田宏敏)



ハロウィンパーティ

11月1日に利用者さんと職員とで仮装をし、なかよし会で『ハロウィン行事』を開催しました。カボチャのお面の作製や寮内の窓に暗幕で目張りをし、暗くなった室内でお化けに扮した職員からお菓子を貰う宝探しゲームを行い、驚くあまり悲鳴を上げたりニコニコしながら、「どの職員さんがいたか分かった」と話したりして思い思いに楽しんで参加していました。



ナイスハートふれあいの広場に参加



緑が丘スポーツ公園体育館（甲府市）にて開催された「ナイスハート甲府大会2018」に、利用者さん15名で参加してきました。

穴山の里が選手宣誓を行うことになり、利用者さん2名はたいへん緊張した様子でしたが、無事に代表に相応しい宣誓を行うことが出来ました。その後のロープ送りや風船バレーなどの各競技では、楽しみながらも他チームに負けたくないという強い気持ちで、精一杯の力を出せました。他施設の利用者さんや職員とも交流ができ、有意義な時間を過ごすことが出来ました。

農業班 一泊旅行

10月30・31日に農業班の利用者さんたちが普段の活動の疲れをとってリフレッシュするため東京都・青梅方面に一泊旅行に行きました。



青梅方面を旅行先にした理由は、電車を好きな利用者さんが多く電車の博物館に行きたいとの希望があったため、青梅鉄道博物館がある青梅に旅先を決めました。他には皆が知っている「天才バカボン」の作者である赤塚不二夫会館の見学や、御岳山（みたけさん）でケーブルカーにも乗って景色を楽しみました。

青梅方面を旅行先にした理由は、電車を好きな利用者さんが多く電車の博物館に行きたいとの希望があったため、青梅鉄道博物館がある青梅に旅先を決めました。

他には皆が知っている「天才バカボン」の作者である赤塚不二夫会館の見学や、御岳山（みたけさん）でケーブルカーにも乗って景色を楽しみました。

韭崎小学校大豆収穫体験

韭崎小学校3年生の生徒さん50名が、昨年に引き続き食育を目的に大豆収穫体験のために来園されました。圃場では、初めて見る大豆の実っている姿に驚きながらも、「大豆からどんなものが作れるか」という質問に対しては、職員が驚くほど元気に答えて頂きました。手作業で枝から実を取り出す体験では、大豆を分別する選穀機のハンドルを回す操作に興味を引かれたらしく、列になって並ぶほど人気でした。

次の機会があれば里の利用者さんも一緒に参加していただき、交流の輪を広げられたら素晴らしいと思いました。



木エクラブ紹介

利用者様の余暇活動のひとつとして「木エクラブ」があり、利用者様の個々の特性に合わせた作品づくりを行い、物づくりの楽しさを知って頂けるように活動しています。

出来上がった作品は県の文化展や穴山町文化祭、施設内行事などに出品しています。1年を通して作品づくりを行うので、完成した時には利用者の皆さんも職員も達成感を味わうことが出来ています。



穴山の杜

特別養護老人ホーム穴山の杜
〒407-0263 韮崎市穴山町 5390
TEL0551-25-6100
E-mail : mori@sip-shinwakai.jp



ここ数年、IT技術を応用した製品の数々が普及し、産業界で、雇用面で革新を起こしつつあります。多くの人間に変わって、ロボットがその役割を果たす時代が目の前に迫っています。介護業界においても“見守りロボット”と称される製品が2年ほど前から製品化され、要介護者（入居者）のベッド上の動きや、離床等の入居者の情報が得られるようになってきております。当施設におきましても、見守りロボット（見守りセンサー）の導入が必要な

入居者に順次導入する計画です。見守りロボットは、要介護者の呼吸や脈拍などを自動で測定するシステムであり、又要介護者のベッド上での動きを感知し（離床センサー）ナースコールと連動して介護者の危険な動きを知らせてくれます。従来は脈拍を把握するためには器具を体につける必要がありましたが、この機器はベッドのマットレスの下にセンサーを敷き、このセンサーから得られたデータを無線で離れた場所にあるパソコンに送り要介護者の状態を把握できるシステムです。この機器を導入することにより要介護者の負担、介護職員の負担軽減にもつながるものと確信しております



写真:門松は穴山町山田恭男様よりいただきました

平成30年度 委員会活動の紹介

「安全衛生委員会」

委員長 進藤 優樹

委員会活動の目標として、「褥瘡予防のためにポジショニングを身に付けていく」、「感染予防を徹底していく」の二点を掲げ取り組んでいる。

褥瘡の予防について：まず、施設内での褥瘡および褥瘡になる危険がある利用者を把握するため、毎月の委員会で報告し合い経過を追っていく事にした。又、褥瘡の理解を深める為、委員会メンバーで褥瘡についての勉強会を開催し褥瘡の発生と対応についての施設内研修を行っている。

10月以降は、委員会の開催時、委員会のメンバーでポジショニングの勉強会を開催し、各ユニットの利用者を対象にして、委員メンバーが講師となりポジショニングの研修を行っていく予定。

感染予防の徹底について：施設で年2回行う事が決められている嘔吐物処理、感染予防研修を一回目看護師が講師、二回目は介護職員が講師となり行った。

その他の活動として、夜間に起こった場合に知っておきたい緊急の対応を書き出し、夜間救急対応マニュアルを作成。ウルトラ次亜ソフト水の効果や使い方を詳しく知っている職員が少なく鳴ったため、使い方や成分などを調べ職員に周知した。

「接遇・レク・環境整備委員会」

委員長 林 志穂

私たち接遇・レク・環境整備委員会は、「入居者、職員間、ご家族への礼儀作法の徹底 生活のマナー化防止のレク活動 施設内外の環境美化活動」を目的に活動しております。

その活動の一つとして、委員会で決めた活動スローガンの唱和を、毎日の業務引き継ぎ時に実施し、職員同士が普段から態度や言葉遣いに気を付けるように促す活動や、年に何回か“喫茶店”を企画し、ご利用者が楽しめるよう手作りパンケーキやコーヒーを提供したり、ご利用者の生活空間を清潔に保てるよう、各ユニットの清掃チェックし改善点を呼びかけ合うなど、様々な活動を行っています。また、夏に行われている地域ふれあい夏祭りでは、夏祭り実行委員として法人内各事業所の職員と協力し合い、夏祭り成功を目指し活動し成果を上げています。

名言名句から学ぶ

「馬に乗ってみよ、人には沿ってみよ」

馬のよしあしは、乗ってみなければわからないし、人のよしあしは親しく付き合ってみなければわからない。何事も経験してみないと、本当のところはわからない。したがって物事は本気で取り組み、人とも本気で付き合うことこそ大切なことである。

10年を振り返り…

介護部主任 伊藤 みゆき

年月が経つのが、とても早く感じています。穴山の杜に入職し数カ月たった頃、介護の仕事にやり甲斐を見出せず辞めようかなと感じていた時に、新入居の利用者様との出会いがきっかけで、この介護の仕事に頑張ろうと思いました。その利用者様を担当する事となり日々接し最期を看取る事も経験しました。その看取りが初めてで、いろんな感情が沸き、その中でも「もっと学ばなくては」と強く感じました。現場での経験と研修やセミナーに参加する事で、介護に対する思いや考え方が確立し楽しさも増し、やり甲斐が感じられています。

施設内では、この10年でさまざまな取り組みをしてきました。おむつ外し・ユニットケア・機械浴槽から檜浴槽へ。新しい取り組みは中々スムーズではありませんでしたが、利用者様の当たり前の生活を支える事へと繋がり、職員皆で協力し合い浸透しています。これからも、利用者様・ご家族に満足して頂ける施設を目指し、微力ではありますが周りの方々のご支援と協力を頂きながら頑張っていきたいと思います。

「美味しかったよ」 笑顔見せてくれました



12月26日にクリスマス食として、にぎり寿司が提供されました。まぐろ・サーモンなど食べる機会が少ないにぎり寿司に目を輝かせ、一心不乱に召し上がります。「美味しいよ!」「ご馳走だね!」と大喜びしていただきました。にぎり寿司だけでなく、月一回提供の太巻き・いなり寿司やサンドウィッチ、ほうとうやすいとんなども大変喜ばれます。ほうとうやすいとんは懐かしく馴染みのあるメニューとして食べが良く、あつという間に召し上がられる事が多いです。1月にはお雑煮とおせち盛り合わせ、お赤飯やちらし寿司など、お正月お祝いメニューが提供されました。2月3日は節分給食、3月3日はひな祭り給食などが予定されております。行事毎や季節を感じられるメニューを提供出来るよう、今後も関係職員や委託業者と協力し取り込んでいきたいと思っております。

栄養士 小野馨子

11月15日あいおい幼稚園の方々が、来設して下さいました。“どんぐりころころ”や“たきび”の歌声に、利用者もつられて「垣根の曲がり角〜♪」と一緒に唄います。また、先生の号令に「はい!」と元気良く返事し、様々な体操をし、ブリッジをしたまま前進する姿を見て、身体の軟らかさに一同感心しました。最後は全員と握手をして下さり、普段は強面なおじいちゃんも柔らかな笑顔で、「可愛いね」「いい子だね〜」と感極まる方も居ました。また来て下さいね!

あ
幼
い
慰
稚
お
問
園
い



焼き立てパンケーキいただきました!



10月30日午前の部、午後の部と分け、“喫茶店”がOPENしました。秋らしくなり、コスモスが華やかに咲く景色を見ながら、目の前で焼いたパンケーキを楽しみました。メイプルソースがあんこ、どちらかトッピングを選ぶ際には「う〜ん、やっぱりあんこかな」とあんこ味が少し人気な様子で、出来立てのパンケーキはふわふわで格別。「美味しかった!またお願いします!」と期待の声聞かれました。



お花に癒されましょう



1月より第2・第4金曜日に、フラワーショップ シロタ(代田緑様)を講師に招き、フラワーアレンジメント教室を職員対象に開く事となりました。普段生花に触れる事や飾りつけを学ぶ機会が少ない職員も多いと思われる為、多くの職員に参加してもらい、飾りつけたお花をユニットやフロアに飾り、利用者にも綺麗な花や香りを楽しんでいただきたいと思っております。

ご家族のみなさまへ

11月に実施した環境整備へは、たくさんのご参加をいただき、ありがとうございました。ユニット居室内が綺麗になり、入居者様の冬支度もしていただき、ご協力を嬉しく思います。また、たくさんの雑巾等の寄付もありがとうございました。

わ〜く 穴山の里 共同生活事業所 合同便り

多機能型事業所 わ〜く穴山の里
共同生活事業所（わ〜く穴山の里内）
〒407-0263 韮崎市穴山町 4433-1
TEL : 0551-25-5866
E-mail : work@sip-shinwakai.jp



新年あけましておめでとうございます。

今年の干支はイノシシ。



作業に活動にたくましい姿を見せる利用者様の姿は正に「猪突猛進」。ますます元気に突き進んでまいります。今年も多くの方に利用者様の活躍を知っていただきたく、見学も随時受け付けております。お気軽にお越しください。

共同生活事業と連携しながら、障がいを持つ方が地域で生活するために必要な「挨拶・身だしなみ・相談する力」を身につけて作業に取り組み、より丁寧な製品作りを行います。その先に見えるのは「工賃向上」。

基本的な衛生保持や各利用者様に合った治具の活用により、取引企業様より評価していただくことも増えてきました。生活するためには「お金」は不可欠です。地道な取り組みが利用者様の工賃アップに繋がるよう職員も「猪突猛進」！！

今年も駆け抜けてまいります。



平成 30 年度の報酬改定に伴い、就労継続支援B型は平均工賃月額による報酬となりました。

工賃向上計画に沿って平均工賃 25,000 円を目標に安定した工賃を支払えるように取り組んでいます。

丁寧な物作りを心掛け、生産力を上げるための技術面、作業工程の見直しが結果として働く事を希望する利用者様を支え、高い評価や売上げ向上に繋がります。

また、企業様とは情報交換を密にして、納期通りにお客様へ出荷出来る事は自信と達成感となり、利用者様からは、「今日もがんばるぞ！」の声が生まれています。



工賃向上計画 2019



衛生管理の取り組み



わ〜く穴山の里では民間企業様との契約で多種多様な作業を行っております。

今回ご紹介するのは乾物計量、袋詰め作業です。安心安全な製品をお届けするため事業所一丸となり衛生管理に努めております。

＊抗菌静電素材の作業着、帽子、マスクを着用する。

＊支度準備室にて粘着ローラーをかけて髪の毛や埃を取り除く

＊身だしなみを整えて作業場に入室する。

徹底した衛生管理に取り組み、異物混入対策を行います。

日々の取り組みにより良質な製品を提供し、企業様からの信頼信用を大切にして、安全・安心への取り組みの一つ一つが工賃向上に繋がればと思います。

穴山の杜シヨート

穴山の杜 短期入所生活介護事業所
〒407-0263 韮崎市穴山町 4410-3
TEL : 0551-25-0800



『介護を始めて』

介護員 佐野千津香

伯母がきっかけで始めた介護の仕事も14年になりました。老健での通所リハ、穴山の杜に入社して特養のユニットケアを経て、短期入所事業所へ異動し、2年半が経ちました。

開所当時は利用人数も少なく、私達職員も手探り状態で、何を作り上げて行ったら良いのか不安でした。しかし、今では多くの方に利用していただき、穏やかな毎日を送っています。

利用者様は在宅で生活をされている方々なので、家庭での生活と同じように過ごしていただけるよう、安心できる環境作りや、一人一人に対してリハビリや運動、レクリエーションを通して職員との信頼関係を築けるよう、全員でアイデアを出し合いながら頑張っています。施設を利用して笑顔や会話が増えたり、食事がしっかり摂れるなど少しずつ変化が見られた時は、一生懸命やっけてきて良かったと感ずることがあります。

時には挫折しそうになったことも数知れませんが、仕事を続けられるのはそんな利用者様の姿を見たり、感謝の言葉をかけていただけているからだと思ひます。また、一緒に働く仲間の励ましの言葉も私にとっては強い味方です。

これからの短期入所事業所がどのように変わっていくのかは私達職員次第です。今以上に更なる向上を目指して施設長を先頭に、施設や自分の目標に向かって協力し合い、業務に努めていきたいと思ひます。そして伯母のお世話をすることができなかつた分、これからも沢山の利用者様を支援していきたいです。

おやつレクリエーション



10月にはどら焼き、11月にはゆず饅頭を作りました。どら焼きは男性、女性に分かれ、どちらが上手にできるか競いました。ゆず饅頭は各自自分の分を作りました。ゆずの良い香りに季節を感じることができました。



クリスマス



12月25日にクリスマス会を行いました。美味しいケーキとコーヒーで笑顔と会話が弾み、楽しい時間を過ごしました。翌26日は昼食に握り寿司を食べました。大好物のまぐろやこぼれイクラに『美味しい!』と大満足でした。



謹賀新年



初日の出とともに20名の利用者様と新年を迎えました。昼食にはおせち料理とお雑煮を食べました。午後は甘酒を飲みながら、書初め、福笑い、かるた取りをして正月を楽しみました。『今年も健康で多幸の一年となりますように・・・』



感謝録

(平成30年9月16日から平成30年12月15日)

～ご寄付を頂きました～ (敬称略)

ありがとうございました。感謝いたします。

古内保明・藤田 元・飯野志津子・山田恭男・細田設備・
(株) サンカイゴ・愛生幼稚園大村園長

～ご協力を頂きました～ (敬称略)

☆ボランティア

阿部光雄 (歌謡)・島津泰子・長坂泰子・島津公子・
細窪房美・嶋津良子・森岡節子・西山千代子・堀井敬子
(歌謡協力)・田中康子 (絵画指導)・足立悦子 (ピアノ演奏)
・ロバとうさぎの会・愛生幼稚園児・千野公洋 (太鼓)・
飯野祐子 (習字講師)・菫崎スポーツクラブ・フードバンク山梨・上野電子株式会社

訪問録

(平成30年9月16日から平成30年12月15日)

☆教育実習 (敬称略)

◎帝京学園短期大学
浅川朔葉・春宮彩乃・大沼未来・内藤有紀

☆体験実習 (敬称略)

◎梨大附属特別支援学校
中島菜緒

☆施設見学 (敬称略)

◎菫崎小学校 (大豆収穫体験実習) 50名
◎坂城町民生児童委員協議会
◎穴山町民生委員
◎昭和産業株式会社

すでに里の整備始まっています！

本部だよりでお知らせの通り穴山の里の新規活動棟の土地整備が進められております。現在は山林部分の伐採、抜根が終了しております。今回はその伐採作業を紹介いたします。



- ① 巨大クレーンで木を吊り、木こりの人も吊り上げて
 - ② 根元か、中間部分では木こりの人もくくって伐採
 - ③ 切り落とした木は、吊ったまま所定の位置に下ろし
 - ④ 下にいる作業者が枝を落とし、長さを揃えます。
- この繰り返しの作業の手際は見事でした！！

お雑煮に用いるお餅の形と地域性

お雑煮の主役であるお餅。これには四角い角餅と丸い餅の2種類があることをご存知でしょうか。大雑把に言って東日本は角餅、西日本は丸餅文化。お雑煮発祥の地・京都の食文化の影響を強く受けた地域は主に丸餅を用います。



角餅のすまし (醤油) 仕立て

丸餅の味噌仕立て



今回の機関紙の表紙を飾った甲斐駒ヶ岳は見事です。これが実現したのも活動棟建設のために山林を伐採したことによりです。今年の秋には活動棟も完成し新しい景色となるでしょう。また、線路や道路側からの施設景観も大きく変貌し、信和会全体としての活動も認識していただけるのではないのでしょうか。年々変化を遂げている信和会ですが、今後も地域と共に歩み「たゆまぬ成長と前進」ができるように頑張ってください。

(T・F)

編集後記